

## 白山・別山

平成 25 年 9 月 28 日(土)～29 日(日) 晴れ

中道 宏、同行者なし

この方面への旅行の機会に、50 年振りに歩くこととした。

この時期公共交通は、土曜日と日曜日に限り、1 日 1 本北陸鉄道バスが金沢～別当出合を往復している。これを利用する場合山行は、朝 9 時別当出合着後、翌日 13 時半同発までに限られる。また露営場がきわめて限られているので、山小舎泊とせざるを得ない。

### 28 日(土)

前夜八王子発の夜行バスで金沢に 6 時着。

北陸鉄道の営業所で白山室堂センターの宿泊・バス往復のクーポン券(10,600 円)を購入。車内は満席。

車内で白山通の方から車窓からの風景や登山情報を丁寧に教えていただく。有難い。特に別山への関心が高まる。

9 : 0 7 (標高 1260m、石川県・白山市・(財)白山観光協会のパンフレットによる。以下、断りが無い限り同じ) 登山届を出し、別当出合発。

登山路がよく整備され、登山者も多い。

9 : 4 5 (1500) 中飯場。長袖シャツを脱ぐ。

1 1 : 0 3 (1965) 甚之助避難小屋

黒ボコ岩への路が良さそうなので、このまま砂防新道を進むことにする。



夏の強風で稜線の葉は痛められており、紅葉は期待できないのではないかな。

11:28(2100) 南竜ヶ馬場への路を別ける。

0:10(2320) 黒ボコ岩 観光新道と合する。

すぐ木道になり、五葉坂に向かう。



0:38(2450) 室堂

チェックインは13時からとのこと、白山に向かう。

1:22(2702) 御前峰

残念なことに北アルプス～御岳方面は雲が上がり、見えない。

別山方面の山並みが美しい。

1:58 室堂に戻り、チェックイン。

下山路を別山経由に変更して届ける。

定員700名に対し、予約300名。しかし整理の便宜上か、ぎゅうぎゅう詰めである。小屋泊に慣れていないので、圧迫感を覚える。

外の敷台に座り、ビールと酒を飲みながら、コースタイムを整理し、パンフレットの時間内で歩いていることを確認した。明日の行程は計7時間半、1時間余裕をみて5時発とする。

4時半、夕食。なかなか良い。

**30日(日)** 午前中晴れ

前夜7時には就床、3時半に目覚めたが、やや早い。

次は5時。慌てて外に出る。満天の星。寒くない(下山後確認すると朝4時半の気温は8.8℃)ので、長袖シャツだけでヘッドランプを点け、

5:07 発。

前日確認しておいた下山路を辿る。歩きにくい道である。

単独3人を含め、6パーティとすれ違う。

別山方面への稜線に陽が射す。



6:08(2080) 南竜ヶ馬場

同野営場の下の平地で朝食の弁当を摂る。これもなかなかいい。



ここから縦走路はもう1つ降る。



急登後快適な尾根歩き。昨日逃した眺望を存分に愉しむ。

7 : 26 (GPS 標高 2229m) 空池？



別山は右奥の御舎利山の奥にあり、見えない。

時々、白山を振り返る。



御舎利山が近づき、



別山が間近になる。



別山

御舎利山

8 : 4 1 (2399) 御舎利山を巻いて、別山。

数パーティがいる。

また石徹白へ下山しているパーティも見える。



白山はゆったりしている。

御舎利山と別山は僅か 10 数 m の標高差であるが、こうしてみると確かに低い。



8 : 5 4 下山へ

9 : 0 6 (GPS2388) 御舎利山

チブリ尾根の別山市ノ瀬道は長い。



チブリ尾根避難小屋の手前にはまだ花が残っていた。



10:04(2080) チブリ尾根避難小屋  
振り返る。



御舎利山 別山

しばらくしてブナ林に入り、眺望がなくなる。

11:24(GPS1293) 水場の標識

12:14(GPS955) 昨日教えていただいた砂防工事用の2車線の舗装道路に出る。

12:35(830) 市ノ瀬

ビールを飲みながら記録を整理し、バスを待つ。

久方に陽が燦々と輝くなかを歩くことができた。

衣類は冬山用を用意していたが、すべて未使用である。

途中あった人に教えられ、声をかけられた。有難いことである。

